

百九拾八人、女貳千九百六拾貳人、

五拾六万四千六百人 此外ニ旅人旅僧穢多非人不入

〔蜘蛛の糸卷〕市中の人数

同月年〇天明七五月 廿日の蜂起より、廿一日、廿三日、廿四日まで、江戸中諸商人戸をとざして業をせず、

依之米はさらなり、諸人日用の品に困る、廿五日初めて戸を開く、町奉行に公命ありて、御救被下、

曲淵甲斐守 四日市に小屋かゝり、施行場とす、壹人に玄米貳合五勺、豆貳合五勺、銀三兩貳分づゝ、

牧野大隅守 小兒七歳以上迄、御救被下、此時町家の人数を檢戸ありしと、ある記に、

町數二千七百七十餘町

表店二十萬八千餘家

市中總人数百二十八萬五千三百人

内八千二百人 女二千五百人 遊女六千三百人 女遊女禿

出家五萬二千四百三十人 一向宗の女除く

山伏七千二百三十人 妻帶の者の女除く

神職三千五百八十人

右の外御用達町人、能役者、諸家の家業町住の者は除くなり、

〔二話一言二十六〕寛政十年戊午江戸人別

武藏國 武州

一人數四拾貳万五千百貳拾四人 豐島郡之内 内貳拾四万五千七百五拾八人 女男 但

同斷 右同斷

一人數壹万八千六百七拾九人 荏原郡之内 内壹万三千三百四拾五人 女男 但當午四月人数